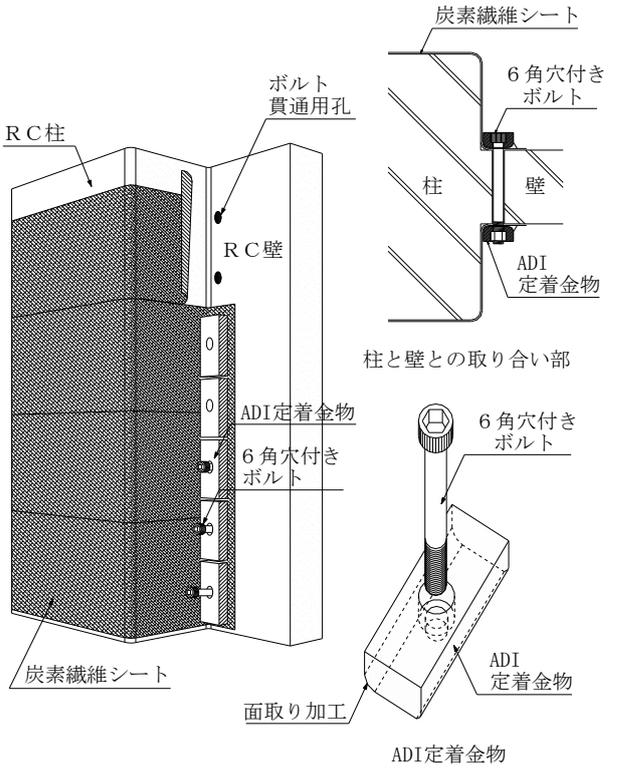


<p><b>【技術の名称】</b>                  ADI-CF 耐震補強工法                  -独立柱ならびに壁付き柱の炭素繊維シート                  補強工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第01-05号                  性能証明発効日：2001年7月3日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社浅沼組                  鉄建建設株式会社</p>
---	---

**【技術の概要】**  
 本工法は、鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造の既存建築物における独立柱ならびに壁付き柱に適用する炭素繊維シートを用いた耐震補強工法である。ここで、独立柱とは、材軸方向の全長にわたって壁が取り付けられていない長方形断面柱をいい、この柱の補強には、同柱の四周に炭素繊維シートを巻き付ける工法を採用している。壁付き柱の補強は、壁で分断された炭素繊維シートを柱部に貼り付け、同シート端部をそれぞれ鋳鉄製の定着金物で押さえ付けた後、柱際の壁部分にあらかじめ設置された貫通孔に通したボルトを用いて壁の両側に配置された定着金物相互を緊結することによって行われる。

**【技術開発の趣旨】**  
 鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造の既存建築物におけるせん断強度の低い独立柱、ならびに袖壁付き柱や腰壁・垂れ壁付き柱などの壁付き柱については、これまでの大地震の際、柱と壁にせん断ひび割れが発生して、脆性的に耐力を失うなどの被害が生じた。この点が既存建築物の耐震診断の際にも、耐震性能を低く評価する要因の一つとなっている。壁付き柱については、独立柱で実績のある炭素繊維シートの四周巻き付けによる補強方法を適用することが難しく、これまで有効な補強方法が見出せなかった。本工法は、これらの問題の解決を意図して開発されたものであり、開発に際しては、独立柱と壁付き柱の終局耐力および変形性能を一貫した設計式で評価することが意図されている。

**【性能証明の内容】**  
 本技術について性能証明を行った結果は、以下の通り要約される。  
 申込者が提案する工法による鋳鉄製金物を用いた炭素繊維シート端部の定着部は、【設計・施工指針】で提示している同シートの設計強度を伝達する能力を有し、かつ、本工法により補強される独立柱ならびに壁付き柱の終局耐力および変形性能は、同指針で提示している設計式で安全側に評価される。



工法概要

**【本技術の問合せ先】**  
 株式会社浅沼組 担当者：中澤敏樹 E-mail：nakasawa-toshiki@asanuma.co.jp  
 〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号 Tel：(072) 661-1620 Fax：(072) 661-1730  
 鉄建建設株式会社 担当者：市川昌和 E-mail：masakazu-ichikawa@tekken.co.jp  
 〒286-0825 千葉県成田市新泉9-1 Tel：(0476) 36-2360 Fax：(0476) 36-2380